

2020年5月20日

フィッチはアムンディの格付け A+ 維持を確認

アムンディ・ジャパン株式会社

信用格付会社のフィッチ・レーティングス（以下「フィッチ」といいます）が2020年5月12日にアムンディの最新の信用格付に関するプレス・リリース[※]を発表しました。

フィッチは、アムンディの長期発行体デフォルト格付（IDR）をA+、格付アウトlookを「安定的」に維持することを確認しました。A+の格付は、フィッチが伝統的な資産運用会社に対し一般的に付与する格付において、アムンディが最上位に位置することを示しています。

このフィッチのプレス・リリースは、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）と、その影響に伴う資本市場の混乱のなかで発表されたものであり、重要な意味を持つと考えます。アムンディのA+の格付および安定的な見通しを確認されたことは、アムンディが同格付を維持したまま今回の危機から脱することが可能であるというフィッチの確信を反映しています。

アムンディは2015年からフィッチの信用格付を取得しています。フィッチは資産運用セクターの企業を対象に毎年実施しているレビューを経て、新型コロナウイルス危機の状況下で、アムンディのA+の長期格付および安定的な見通しを再確認しました。

今回の格付更新では、特に以下の点が高く評価されています。

- 欧州におけるアムンディの規模と主導的地位、およびアジアをはじめとする地域分散の進展。
- プロダクトの構成および運用ソリューションの健全な多様化。
- アムンディの運用するオープンエンド型資産の約80%が、運用評価機関から評価を受ける運用戦略で過去5年のパフォーマンスが4分位のうち第1、第2分位に入っていることが示す通り、運用パフォーマンスが安定していること。
- 健全なリスクコントロールと堅固なレポートツールによるアムンディのリスク管理の枠組みの優位性。

- 政府系ファンド、事業法人、金融法人、さまざまな地域に基盤を置く多くの銀行との長期的な取引関係など、極めて多様化した顧客基盤
- アムンディの堅固な財務構造、低水準の債務、事業および業績の回復力
- クレディ・アグリコル・グループからの支援

※ フィッチのプレス・リリース（原文）は下記リンクからご覧ください。

<https://www.fitchratings.com/research/non-bank-financial-institutions/fitch-affirms-amundi-at-a-outlook-stable-12-05-2020>

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{※1}を通じて約 180 兆円^{※2}を超える資産を運用する、欧州 No. 1^{※3}、世界トップ 10^{※3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

信頼こそ、私たちの資産。アムンディ

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2020年3月末日現在。約1兆5,270億ユーロ、1ユーロ=119.55円で換算
- 3 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ400社（2019年6月版、2018年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：pr@jp.amundi.com

直通： 03-3593-5700/9019

R2005034